

夕刊フジ 2024年(令和6年)8月3日



こういった移住の調査で、珍しく日本が上位に入った。といっても、実際に移住する人の数はそれほど多くない。日本が顔を出している理由は、「観光で行ってみたい良かった」という部分もあったのだろう。

日本政府観光局が発表した2024年上半期の訪日外国人数は、前年同期比約66%増の1777万7200人と過去最高を更新した。円安も追い風となった。また、4ヶ月期の訪日外国人旅行消費額も2兆1370億円で四半期として過去最高だった。

政府は16年に「明日の日本を支える観光ビジョン」として、訪日外国人数を20年に4000万人、30年に6000万人、消費額15兆円という目標を掲げていたが、30年の高い目標も結構、現実味を帯びてきている。

私が学生時代にJTB

訪日客「6000万人時代」に備え

政府は根本的な観光公害対策を

やまない人気スポットでの渋滞、危険行為

の観光客ガイドをしていところには、シーズンオフというのがあったが、現在は季節に関係なく訪日している感じ。ただ、こんなに暑い季節の日本に来たら、へたるんじゃないか。

スを食べって混雑した雑踏のなかでは迷惑になることも多い。訪日観光客6000万人時代ともなると、過度な混雑やマナー違反といったオーバーイズム対策も、大きな課題になってくる。

国・地域別では、韓国が前年同期比42%増の444万2100人でトップ。中国は306万8000人で2位だった。で、台湾、米国が続いた。中国はピークには700万人に達していたのでだいぶ落ちたが、少し回復してきている。

例えば、北海道美瑛町の観光スポット「セブンスター」の木「付近の町道で迷惑駐車による渋滞の発生が続き、駐車禁止規制を始めた。人気漫画「スラムダンク」のファンの間で聖地ともいわれる江ノ電鎌倉高校前駅踏切では、写真撮影のために車道に飛び出すなどの危険な行為が問題視され、警察車両が道路に出ないよう注意を呼び掛けている。

ビジネス・ブレイクスルー(スカパー!557チャンネル)の番組「大前研一ライブ」から抜粋。

各地に歩いていている私の印象では、1カ月前に比べても中国系の人たちは増えている。中国政府は日本に行かないようにいろいろと指導し、代わりにタイに向かっていたが、やはり基本的には中国人は日本の方がいいと考えている。

京都市バスでは京都駅から人気エリアの清水寺や祇園へ直行する「観光特急バス」路線を設けた。しかし、膨大な人数に対しては効果に乏しく気休め程度に過ぎない。

ただ、中国人の多くは、あの自撮り棒を持ってくる。これ、結構、スベ

観光立国推進閣僚会議



※動画閲覧に関し、タブレットで最適化されています。スマートフォンではタップ、拡大してご覧下さい。